



■中四国地域「bikebiz(バイクビズ)」取り組み紹介

| | | | | | |
|------------|---|---------|-------|------------|------------|
| タイトル | ～インセンティブを効果的に活用し、自転車通勤への切り替えを促進～ | | | | |
| 団体名 | 安田金属株式会社 | | | | |
| 分野 | エネルギー・地球温暖化対策 | 健康・レジャー | 観光・交流 | 安全・快適ハード事業 | 安全・快適ソフト事業 |
| 対象地域 | 安田金属(株) 本社 | | | | |
| URL | http://www.yasudaeco.co.jp | | | | |
| 団体の概要 | <p>所在地：広島県廿日市市木材港北4番60号 代表者：代表取締役 安田秀吉</p>   | | | | |
| 目的・ねらい | 通勤に伴うCO ₂ 削減、駐車スペースの確保 | | | | |
| 概要 | <p>当時賃借をしていた駐車場をお返すことになり、社員通勤用の駐車スペースが不足気味になりました。そこで、隣接する施設の設備改善工事時に付属して、それまで露天駐輪だった自転車・バイク駐輪場を屋根つきのものに新築することにしました。(平成22年1月)</p> <p>当社が加入している「ウエストグリーンネット」様よりバイクビズのご案内を頂いたことを契機に、バイクビズ通勤奨励制度をスタートさせました。</p> <p>当社が準工業地域に所在し、公共交通機関から離れていることも加味し、自転車のみならずバイクでの通勤も、自家用車よりCO₂排出量が少ないことから奨励制度の対象としました。</p> | | | | |
| 体制 | 平成22年に奨励制度を導入。翌23年も奨励制度を更新。いずれも奨励一時金(インセンティブ)を該当社員に支給。 | | | | |
| これまでの成果 | インセンティブ導入時は、5名程度自家用車からバイク・自転車通勤への切り替えが発生しました。現在は本社通勤66名中、13名がバイクまたは自転車通勤をしています。(13名中9名が自転車を利用) | | | | |
| 今後の課題と展望 | 本社の立地条件の割には、自転車・バイク通勤の人が多く、家庭環境の変化(例：子供の送迎)などが発生すると自家用車の利用を認めざるをえず、現時点では本人の自主性に任せています。 | | | | |
| 団体からのメッセージ | <p>総合リサイクル業の会社に勤務をしていることから、一般的な企業に勤めている方より環境に対する意識は高いと思います。</p> <p>例：①資源ゴミは本当の廃棄物ではなく、再生できる資源であることを日々の業務を通じて実感している点 ②家庭やオフィスから発生する廃棄品が再生資源処理フロー上、どの品目にあたりどの施設で処理できるか商品知識がある点など</p> <p><u>私達の仕事の一つ一つが環境負荷の低減に貢献をしていることに、社員一同、誇りを持って日々の業務に取り組んでいます。</u></p> | | | | |

～インセンティブを効果的に活用し、自転車通勤への切り替えを促進～

メッセージ発信者所属、氏名

安田金属株式会社

取締役 工場管理部長 天野 勲さん

総務部 課長 杉山稔明さん

動機・きっかけ等！

当社が参加しているウェストグリーンネット様よりバイクビズについて案内をもらったことと、社内的にも屋根付きの駐輪場を新築するタイミングであったことがきっかけです。

事業所がどう変わったか！

平成22年度、平成23年度の2年間、奨励制度を設けてインセンティブを導入しました。内容は、自動車通勤から自転車通勤またはバイク通勤に変更した従業員に対して奨励一時金を支給するというものです。これにより、当時5名程度がバイク・自転車通勤へ切り替えました。現在も本社通勤の66名中、4名がバイク通勤、9名が自転車通勤であり、5人に1人はバイク・自転車通勤していることとなり、定着しました。

これから何に取り組むか！

平成22年のバイクビズ導入の以前から、平成16年にISO14001を認証受け、平成18年の社屋建設時には地熱の導入、平成24年には太陽光パネルの導入、その他、工場のLED化などトータルでCO₂削減に取り組んでいます。つい先日、事業所の省エネ診断を受けた所で、来週には診断結果が出ます。

その結果を元に、社内で検討の上、今後も引き続き事業所全体でのCO₂削減に取り組んでいきたいです。

他の地域・団体へのメッセージ！

当社でバイクビズが定着したポイントは、①インセンティブを限定的かつ効果的に自家用車からの転換のきっかけとして活用したこと、②対象を自転車のみ限定せず、バイクも対象としたこと、③屋根付きの駐輪場を整備したこと、が考えられると思います。

また、地域においては、適切に再資源化することによってCO₂削減に貢献するとともに、私達の仕事の一つ一つが環境負荷の低減に貢献していることに誇りを持って日々の業務に取り組んでいます。



インタビュー風景（右：天野さん、左：杉山さん）



事業所に設置されている屋根付き駐輪場